

4月20日付 苦情

同日付で、Hと名のる方からメールで苦情、文句、情報提供と思われる文言が入りました。内容(原文のまま)は以下の通りです。

Q：おいちょっとおたくの会社ではルールに違反する弾を売っているそうじゃないの、なんなのそれって。

聞いた話では、なんでも7¼とかの弾で、ルールで決められている7½じゃないってことだけど、そんな弾を公式で使っている奴がいてクレームがついたとかつかなかったとか、いったいなんなんだよ。

当たった時の割れはすごいらしいけど、ルール違反の弾じゃそれもそうなんだろうな。ネット上でちゃんと申し開きできるなら公に説明してくれないかな、反論できるの？

A： 人にもものを訊ねるのに、そういう言いぐさの文面はネエーだろう！！

第一、お訊ねの貴女自身がその弾を使ったことがあるのかい？ ネエー筈だ。

事実確認もせずに文句だか苦情じみた事を言ってきたのだろうが、マアいいだろう。以下に分かるように説明するのでよおっく読んで頂戴。

ご指摘の7¼とは、私どものボルナーギ ペーパーを指しての事ではないかと思えます。その話は既に私どもにも伝わっており、全くの誤解と知識不足から発せられた事のようにです。まず、トラップの7¼・7½やスキート9・9. 5と云うのは、散弾粒の大きさを表す一種記号で、製造国によりその基準には若干の差があります。

7½は大体において直径2. 5mmの散弾粒を基準として言い表されますが、ISFのルールで直径2. 5mm以下の散弾粒と規定されており、2. 5mm以下の散弾粒直径であればトラップ、スキート、Dトラップ全ての種目に使用できるものです。

イタリア装弾の場合、7½は2. 5mm以下のものが多く、ボルナーギ ペーパーの粒直径も2. 38mm平均で7¼と表示され、ITAは7½ですが直径が2. 36mm平均となっています。

従い、7¼は粒直径2. 5mm以下ですので何の問題もなく、現に日本クレ射撃協会の公認検定検査にも合格しており公認装弾となっています。

何処のどなたが、7¼ペーパーに関しどのようなもの言いをしたのか知る由もありませんが、射撃に関する知識の無さを曝け出す知識不足も甚だしい浅学なもの言いであると思えます。そのような人が射撃について物を言ったり、装弾や用具に関して誤った認識を以て言葉をまき散らすことは周囲には迷惑千万な事ですし、射手・選手としてその人の程度の低さを図ら

ずも露呈しているようで笑いが込み上がりそうになります。

誤解の無きよう申し上げます。

7¼は散弾粒直径2.38～2.4mmの間にあり2.5mm以下の基準を満たしています。  
ちなみに、私ども取扱い装弾ボルナーギトラップは以下の通りです。

- |    |              |       |         |      |
|----|--------------|-------|---------|------|
| 1. | I T A トレーニング | 散弾粒直径 | 2.37 mm |      |
| 2. | I T A        | //    | 2.36 mm | シルバー |
| 3. | ペーパー         | //    | 2.38 mm | カッパー |

注) 日本クレイ射撃協会検定検査結果成績表に基づく数値